

イエスは 主なり

日本クリスチャン・アシュラム連盟



日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 123

『平安な老年を迎えたアブラハム』

創世記25章7～10節

岡山 敦彦



最近、牧師として考えさせられまた祈らせられることが二つある。一つは、昭和一桁の先生方、すなわち戦後間もなく信仰へと導かれ、献身された牧師の方々が次々と引退され、退職を迎えようとしていることである。しかも深刻なことは教会に若者が少なく、献身して牧師、伝道者になろうとする人が少なく、多くの神学校で学生が減少していることである。主イエスが言われたように、『収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主は、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい』（マタイ9：37～38）と真剣に祈ることが求められている。

もう一つの祈りは、教会の年長者の方々が長い信仰生活を送ってこられた今、アブラハムのように平安な老年を迎え、幸せな日々を送り、後に続く者たちに信仰の素晴らしさのお手本、模範を示していただきたいことです。

アブラハムの一生は175年であり、彼の父テラの一生は205年であった（創世記25：7と11：32）。長寿が神の祝福のしるしでしょうか。必ずしもそうではありません。創世記5：21～24にエノクがてくる。彼の時代は多くの方が長寿であり、エノクの生涯は決して長いものではなかった。聖書は、彼の生涯をただ一言、「エノクは神とともに歩んだ」と記している。ですから、アブラハムは父テラより30年短い生涯であっても、平安な老年を迎えることができたと言われることで、祝福の人生であったということである。

アブラハムは、住み慣れたウルを出て、一時落ち着いたハランをも離れなければならなかった。彼の生涯を、中東の地図でたどってみると、彼がいかに旅人的人生であったかがよく分かる。また、彼は約束の物をすべて手に入れたのでもありませんでした（ヘブル11：13～14）。

彼はまた、何度も失敗を繰り返している。エジプトの王パロやゲラルの王アビメレクに対し、自分の妻サラを妹であると偽った。神の約束のときまで待つことができず、妻の奴隷ハガルによって子どもをもうける。来年の今ごろ、男の子が与えられるといわれれば心の中で笑ってしまう。このように失敗の多いアブラハムであった。そんな彼であるからこそ、私たちは何か親近感を持って「信仰の父」と呼ぶことができる。アブラハムは自分がどんなに不信仰であっても、神は真実な方であると信じた。神は彼のそのような信仰をよしとして受け入れてくださった。

アブラハムは、長寿を全うして息絶えて死に、自分の民に加えられた。神は彼に天の都を用意して下さっていた。教会に集う年長者たちの晩年が彼のものであって欲しいと祈られるこの頃であります。

（日本同盟基督教団 小倉中央教会牧師）

旧約聖書 靈想
『人間の霊性の回復』

創世記1・24〜31

泉北ニュータウン教会牧師

土山牧蒞

「神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された」(27)
現今において、人間を守れ、人間を大切にせよ、などを多く聞きましたが、人間とは何でしょうか。

(一) 現代の人間観の混乱

現代は、人間の価値が大きく暴落し、「人間とは何か」への答は、「神とは何か」へよりも困難なものです。クリスチャンは、「私は身体を持っていて」と言いますが、知識人の多くは靈魂や精神の存在を認めず、万事を神経の作用と考え「私は身体です」と言い、大差が存在します。

中学の理科教師は、「ダーウィンは進化論で、神が人間を創らず、人間が神を創った証明をした」と講義しました。大学で生物の進化過程と遺伝学を学び、別種の動物は染色体の数と遺伝子が異なり、ダーウィンの理論の矛盾を知りました。人間と他の動物は、脳も異なる別の生物です。

(二) 人間が受けた神のかたち
人間だけが知力の外に、神を信じる霊の能力を持ちます。ダーウィンは報告講演で、「アフリカ探検で猿と人間の中間生物を発見した」と語るのを聞いた一青年は、「その生物は、人間か動物かのどちらかだ。人間なら神を信じるに違いない」と確信し、アフリカへ伝道に行き彼らを入信させました。その報告講演を聞いたダーウィンは感激し、その伝道の発展のため多額の献金をしました。

神を信じている人間の特異性は、人間が神に対して関係を持ち得るように、霊という神のかたちが与えられていることです。人間が神のかたちに創られたことが、人間の最高の栄光であり、人格の価値と個人の尊厳そのものなのです。

神のかたちとは、信仰により神に信頼と愛と服従をして、「神と交わる人間の身体と靈魂の全体を指し、それを霊と言います。霊とは、信仰によって神に結ばれた関係にある人間のことです。「神は霊です」。だから人間の霊が神のかたちです。神と人間は息が通じる者同士、呼吸が合った関係にある者に創られました。神の霊は、人の霊を救おうとして、妬ましいほどに人を愛し追求します。聖霊の充満により、神との交わりが豊かになり、人間に本来与えられた姿が回復されます。聖霊とは、神と人間の間の親密な連なり、神と人間を結合させる管です。これが無いと、信仰の力は失われます。

(三) 神へのあこがれ

信仰を失えば、私たちは神とのゆがんだ関係となり、神のかたちは罪で汚染され光輝を失います。神との関係が壊れた霊は、罪深い肉へと墮落して行きます。その結果、猛獣よりも恐ろしい武器を持った、極悪非道な人間も出現しました。

しかし聖霊は、神と人間を接続し神の言葉と恵みと力を注ぎ込むパイプです。ガソリン切れの航空機と給油機をホースで接続し、油が注入され助かる危機状態と似ています。

ある母親は、三才の女兒一人と夫を残して米国へ留学しました。幼児は家の前を通る若い女性を見つけては、母の愛を求めて走り寄り、両手で抱きかかえ愛情を求め、母が帰国するまで続きました。私たちは、母親を慕ってやまない現代人の人間性の回復と救済のため、愛する子のもとに帰った母のようなキリストの清く美しい人格の姿の中に、新しい人間の希望を見出しましょう。

罪と不信仰によって、ひび割れた自己の内なる神のかたちが、聖霊によって癒され繕われ、キリストの姿が成ることを祈り求めましょう。



スタンレー・ジョーンズ博士の遺言的大著
『震われない御国と
変わらない人格』

キリスト教二大原理の霊的解明
淵江淳一・千代子共訳

宇宙と人生の究極目的を知りたい万人の書

・B6版・並製・504頁
・価2600円・送料310円

発行所・日本クリスチャン・アシュラム連盟
〒152-0001東京都目黒区中央町1-21-10

アシュラム生活最良の友
アパ・ルーム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物

価300円、〒90円、年2,340円(〒共)

3ヶ月分個人予約注文は5,400円(〒除く)

申込先 ☎256-0812 小田原市国府津3-11

振替口座 00110-7-193834 アパ・ルーム

電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来49年続行中

東京都目黒区中央町1-21-10
日本クリスチャン・アシュラム連盟
東京都目黒区中央町1-21-10
日本クリスチャン・アシュラム連盟

新約聖書 霊想
『魂の休み』 ②

函館栄光教会牧師 白川鄭二

マタイ11・28
ヨハネ15・4〜5

イエスは信仰による良心の自由を教えたが、律法は廃れたとは決して主張されなかった。マタイ5・17「わたしは来たのは律法や預言者を廃止するためだ、と思っはならない。廃止するためではなく、完成するためである。・・・言っておくが、あなたがたの義が律法学者やファリサイ派の人々の義に勝っていなければ、あなたがたは決して天の国に入ることができない」といわれた。キリストは律法の人が負い切れぬ軛Vを取り除き、わたしの軽い軛Vを与えられる。それはハキリストの律法Vとも呼ばれる(ガラテヤ6・2)。「互いに重荷を負いなさい。そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになる」。互いに他の重荷を負うこと、それは言うまでもなく、ハ愛の戒めVである。それこそマタイ5・17にある山の頂上の説教の中心点であるハ人の心に記されたVメシアの律法である。人はユダヤ人が以前ラビや律法学者のもとで学んでいたように、熱心にこの律法を学ぶ。人は倦むことなく、耐

え難い重荷としてではなくキリストの許で学ぶことができる。それは彼の軛は甘い―ハ負いやすくVはこのように訳すことができる―からである。その戒めそのものが喜びを意味している。なぜなら「彼の戒めは難しくない」からである(1ヨハネ5・3)。ここではマタイ5・17〜48で告げられた内容がただ一つの文章に纏められている。イエスの律法が負い易く、喜ばしいとするならばそれは全く彼自身が重荷を負われ、苦しむ者と成られたからである。キリスト者はそこに於て全ての自分の重荷が、自分に代わって負われたことを見るのである。

イエスは「柔和で謙遜に」わたしたちの重荷を負われた。柔和はその人の生き方がハ不遜Vでない人(21・5、5・6)の外的な状態を、謙遜は心のさまを表わし、文字通りにはハ心の低いハ心の貧しい5・3Vことを意味する。イエスは神の前で心が貧しく低い。そして外的状態に於ても全く神に依り頼んでいる。見るべき所なく、全ての人に拒絶され(21・42)、いたる所で試みられ(ヘブライ4・15)、十字架の道を歩まれた。全ての人を御自分に招き、彼らと同じように成られた。そのイエスが我々と同じように、神の前に貧しい者、神を待ち望む者、服従する者として立たれる(フィリピ2・

7〜8)。聖書は、イエスを神に代わる尊厳を持つお方(11・27「父から全てを委ねられ、また父を完全に知る方」と呼ぶと同時に、彼の低さをも語っている。ヘブライ4・15「この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点においてわたしたちと同様に試練に遭われたのです」。イエスは戒めの下に苦しんでいる人々をその苦しみから救い出して、彼の休息へと連れてくる。そして彼らに重い軛の代わりに彼の柔らかで負いやすい軛を置くのである。しかし、彼が御自分に従うように呼びかけられる時、律法を自分の努力で行なおうとする者たちは蹟く(11・6)が、幼子(25)や、世の値打ちの無い人々(5・3〜11)は聞いて従う者となろうとするのである。マタイ21・5「見よ、お前の王がお前のところにお出でになる。柔和な方で、ろばに乗り、荷を負うろばの子に乗って」(ゼカリヤ9・6)。そのようにエルサレムに入場する王は王らしくない支配者である。彼はハ貧しくVそして侮られる。彼は受難するために都へ入場する。

新約聖書がイエスについて告白していることの要点は次の通りである。「イエスはメシア(キリストハ救い主)である」。そしてその秘密は天地の支配者である父によって、ただ

世の価値のない者たちに対してだけ現される。彼はただ一人父を現わす独り子である。しかし、この世の人々はこの独り子を拒否する。彼は神の律法を人々の心に記し、神の永遠の平和を世にもたらす救い主である。しかし、それは世の支配者のようではなく、彼が自分を貧しい人々、神を待ち望む人々の立場に身を置くというふうに行なわれる。イエスの最高の尊厳と彼の十字架の道への謙遜とは聖書のすべての証言において一つである。マタイ11・25〜30「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知識ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです。父よ、これは御心に適うことでした。すべてのことは、父からわたしに任せられています。父の外に子を知る者はなく、子と子が示そうと思ふ者のほかには、父を知る者はいません。疲れた者、重荷を負う者は、誰でもわたしの許にきなさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしは軽いからである」。

世の価値のない者たちに対してだけ現される。彼はただ一人父を現わす独り子である。しかし、この世の人々はこの独り子を拒否する。彼は神の律法を人々の心に記し、神の永遠の平和を世にもたらす救い主である。しかし、それは世の支配者のようではなく、彼が自分を貧しい人々、神を待ち望む人々の立場に身を置くというふうに行なわれる。イエスの最高の尊厳と彼の十字架の道への謙遜とは聖書のすべての証言において一つである。マタイ11・25〜30「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知識ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです。父よ、これは御心に適うことでした。すべてのことは、父からわたしに任せられています。父の外に子を知る者はなく、子と子が示そうと思ふ者のほかには、父を知る者はいません。疲れた者、重荷を負う者は、誰でもわたしの許にきなさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしは軽いからである」。



理事 大石 嗣五郎
編集人 有馬 歳弘
定価 一部60円 予80円

▼関東地区アシラム
☆城北アシラム報告

去る2月11日、第31回城北アシラムが、主題聖句「あなたがたは宝の民」申命記7章6節のもとに、池の上キリスト教会で開催され、参加者数は74名でした。

まず、ルカ1章より開心の時が導かれ、一部の人がニードを述べましたが、次いで9つの祈りの細胞に別れ、更にニードの分かち合いを行い、隣り人のためにニードが聞かれるよう、とりなしの祈りをしました。次いで礼拝堂にて記念撮影をし、昼食時には教会毎の出席者紹介も行われました。午後には、静聴の時、福音の時について、もう一度祈りの細胞が持たれ、最後の充満の時に至りましたが、すべてが主の御導きのうちに順調に行われました。教会員からこのアシラムに参加して幸いだっ

たというお話を耳にし、アシラムの恵みを思いました。今年のアシラムが始まって70年目の記念の国際アシラムが発祥の地、ヒマラヤ山麓のサトタルで開催される年です。アシラムが若い世代へも受け継がれて、ますます盛んになることを祈念して、報告に代えさせていただきます。(飯島庸江)

城北アシラムに出席して

池の上キリスト教会 中川美弥子
池の上の山根先生がアシラムに係され、中島先生、神山先生、岡田先生がおいでの頃のアシラムには出来る限り出席させていただきました。その後スタンレー・ジョーンズ先生、タイタス先生の本の翻訳のお手伝いをし、アシラムのことも少しよく分かせていただくとつれ、静聴は日々の生活に欠かすことのできないものとなりました。



第31回 城北アシラム

への沈潜と新しい友とのすばらしい祈りの時でした。パウロが(ローマ8・39)で言うように「わたしたちの主キリスト・イエスにある神の愛から、わたしたちを引き離すことはできない」ということと、神のくださる恵みのみ言葉に圧倒されました。「あなたは、あなたの神、主の聖なる民だからである」(申命記7・6)

〒267-0111 安奈内 安奈内

▼第38回関東アシラム

・日時 00年9月13日(金)～15日(日)

・会場 山崎製パン箱根山荘

・助言者 連盟理事長 大石嗣郎師

・申込先 〒181-0011

東京都三鷹市井口3-15-6

池の上キリスト教会内

TEL0422-33-0018

▼第35回九州アシラム

・日時 00年9月22日(金)～23日(土)

・会場 厚生年金スポーツセンター

・助言者 日本基督教団香榎園教会

古河 治 師

・申込先 〒802-0972

北九州市小倉区守恒4-1-3

小倉中央教会 岡山教彦

TEL093-961-1960

はれるやさん
③ 谷牧子



■海老沢宣道先生 ご病状が厳しく今回ご執筆は無理でした。残念。すま夫人が5月3日にご逝去。心から哀悼し、主の慰めを祈ります。